

## 事務事業評価調書

事務事業名	農業委員会事業				
担当部名	農業委員会事務局	室課名	農業委員会事務局	室課長名	生田 清温

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和26年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	農業委員会等に関する法律、吹田市農業委員会事務局規程等													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	農業委員、農業委員会事務局職員											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	農業委員会の運営や農業委員活動等を効率的に行う。												
(7) 事業概要	農業者の代表機関として農地法およびその他関連法令に基づく事務事業													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	6	項	1	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		13,818	13,752	13,815	13,682	13,803							
	人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
		総額(B)	千円	16,600	15,894	16,704	16,704	16,340						
	総事業費(A+B)		30,418	29,646	30,519	30,386	30,143							
	特定財源(C)		540	877	640	858	690							
	(内訳)	国		530	851	630	848	0						
		府		0	0	0	0	680						
		その他		10	26	10	10	10						
	市負担(D)		29,878	28,769	29,879	29,528	29,453							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		29,878	28,769	29,879	29,528	29,453								
財源計(C+D)		30,418	29,646	30,519	30,386	30,143								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容	農地法等法令事務の執行、農業委員会の開催及び農地パトロール、農事相談、委員研修、意見交換会の開催、農業者研修会、建議、意見の公表、学童農園事業等農業委員会事業計画の実施。			目標	業務の適正、円滑、効率的な実施。	
	②	成果内容	農地法等法令事務の適正な執行、農地の耕作指導等による農地の維持・保全、学童農園事業、営農環境への迅速な対応。			達成状況	ほぼ達成できている。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成24年8月、農林水産省に設置された都市農業の振興に関する検討会において「中間とりまとめ」が公表され、都市農業・農地が有する多様な役割(新鮮で安心な農作物の供給、市民農園等の情操教育の場、防災空間、ヒートアイランド現象の緩和など)を踏まえ都市農業の振興と農地を保全するための検討が始まり、また、国交省では都市農地の多様な機能性を踏まえつつ、都市計画制度の見直しを進めております。平成27年には、都市農業振興基本法が成立し、都市農地の多面的機能を評価し、その保全と機能発揮を国の責務としました。本市においては、すでにこの農地の多面的役割を認め、食育、環境、農業理解の観点から平成13年度に農業・教育連携協議会を立ち上げ、稲作体験を中心とした学童農園事業を実施しています。当初7校で始まったこの事業も平成27年度には18校で実施しました。				

# 事務事業分析シート

所属名	農業委員会事務局	事業名	農業委員会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00829				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	農業委員会事務局	事務事業番号	00829
-----	----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>農地法や農業委員会等に関する法律が改正されることに伴い、その対応のための事務量が増加する一方であるが、事務改善による効率化等を図ることで、従事職員の減員に対応している。今後は、兼任体制の連携強化だけでなく、適切な人材配置と職員定数の設定を行い、事務の円滑化を図っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)